



歌: Mr.Children 作詞: 梶井和彦 作曲: 梶井和彦

Ah 長いレールの上を 歩む旅路だ  
風にかかれ / ランスとりながら  
Ah 「答え」なんて どこにも見当たらないけど  
それでいいさ 流れるまま進もう

手にしたものを失う怖さに  
縛られるくらいなら  
動意などいらぬ

何が起ころうとも変じやない  
そんな時代さ 覚悟はできてる  
よるこびに駆け抜けて明日へ  
僕を走らせる「ea」

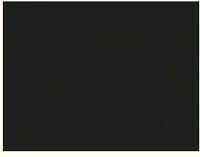
Ah 自分の弱さを まだ認められずに  
恋にすかり 傷つくるたび思う

「愛とはつまり幻想なんだよ」と  
言い切っちゃった方が  
ラクになれるかもなんてね

甘えや嫉妬やズルさを  
抱えながら誰かが生きてる  
それでも人が好きだよ  
そして あなたを愛してる

Oh なんてヒューマン 裸になってさ  
君と向き合っていたい Uh  
栄冠も 成功も 地位も 名譽も  
たいしてさ 意味ないじゃん

Oh なんてヒューマン 裸になってさ  
君と向き合っていたい Uh  
栄冠も 成功も 地位も 名譽も  
たいしてさ 意味ないじゃん



### 近代人の科学による三大ショック

- ①、人間の先祖は、猿だった  
ダーウィンの進化論の発見
- ②、地球は宇宙の中心ではなかった  
コペルニクスの地動説の発見
- ③、人間の意識は無意識に支配されている  
フロイトの無意識の発見





### フロイト



ジークムント・フロイト(Sigmund Freud, 1856年5月6日 - 1939年9月23日)は、オーストリアの精神分析学者。生まれた時の名はジギスムント・シュローモ・フロイト(Sigismund Schlomo Freud)だが、21歳の時にSigmundと改めた。オーストリアの東欧系ユダヤ人(アシュケナジム)の家庭に生まれた。神経病理学者を経て精神科医となり、神経症研究、自由連想法、無意識研究、精神分析の創始を行い、さらに精神力動論を展開した。(彼自身、自分が心理学者であるという事を一言も述べていない。よって、彼が心理学者であると後世の人々が思っているのは間違いである。)

### 症例アンナ

～精神分析「症例アンナ」～

彼女はフロイトの患者で様々な**神経症症状**を持っていました。その中で、彼女はコップから水を飲めないという症状を持っていました。このときフロイトはまだ精神分析を確立していませんでした。このときブライヤーが発見していた**催眠浄化法**という方法で、彼女を催眠状態にしなぜ症状がでるのかを語ってもらうと、彼女は昔ある家に呼ばれていて(ちなみにその人が嫌いだっただ)、そこに居た**大が自分に出されていたコップと同じ形のコップで水を飲んでいたこと**に**ショックを受けた**ことを話しました。その後、**催眠状態**から戻ると目の前にあったコップに入った水をがぶがぶと飲んだそうです。ここで、アンナは「大がコップで水を飲んでたこと」という不快な経験を抑圧していたと言えます。そのことを語る(カタルシス)ことで、過剰な抑圧がとけて症状が治ったとフロイトは考えたのです。このような神経症レベルのままでいかなくても、人は過去にいろんな嫌なことを解消しきれないままにしていることは多いです。その部分をその人が受け入れることができるようにその部分をテーマに話し合っていくのが**精神分析的**アプローチの仕方です。

### 症例アンナとは...



### フロイトの発見 「言葉」で病気は治る!

過去の体験 → 抑圧をうむ = **トラウマ**

無意識の領域(言葉に出来ない領域)

意識の領域(言葉に出来自覚出来る領域)

身体は、異常がない

身体を通じて現れる行動 = 正常 異常

「この領域が言葉として現れてくる」

「この活動を催眠で抑さえてしまおう」

フロイトの発見 「転移」させて自覚させる



自分の姿を見て、自分に気がつかせる

フロイトの発見 夢は無意識の世界

夢の中では、意識(超自我)の力が薄れ、無意識の世界が現れる

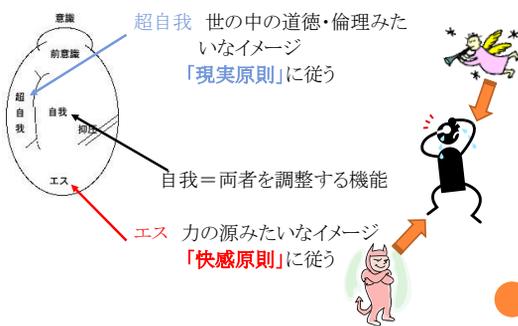
でも

そのままでは現れない(そのまま=意識)

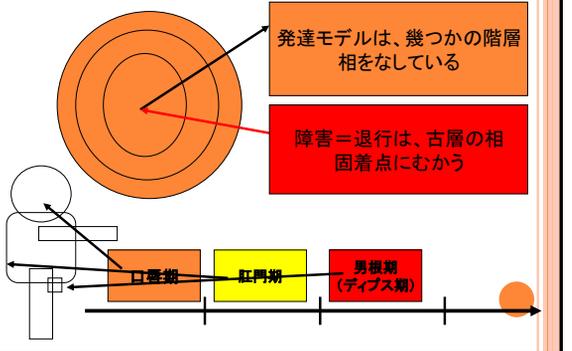
- 圧縮
- 転移(置き換え)
- 比喩(暗喩)

無意識は、言語のように構造化されている J・ラカン

フロイトの考えた無意識モデル



「快感原則」の発達モデル



オイディプス=エディプス神話①

① **テーバイ** エライオスは『自分の子に殺される』との予言を受けた為、息子を山中に捨てた。だが、**コリントス** 王ポリュポスの妻ポリュポイアーはその子を拾い育てた。これがオイディプスである。

② 成長したオイディプスは旅に出るが、デルフォイで『故郷に帰れば父を殺し母と交わる』との予言を受けた為、コリントスに帰ることを諦めたのであった。



③ オイディプスは三叉路でライオスと出会った。だが、些細なことでオイディプスはライオスを父とも誰とも知らずに殺してしまうのであった。

オイディプス=エディプス神話②

④ **スフィンクス** (女の頭に有翼の獅子の体)

その頃、テーバイでは**スフィンクス**が暴れていた。ライオス亡き後のテーバイの実質的支配者となったクレオンは、スフィンクスを倒した者にテーバイの王位と王妃イオカステを与えるとのお触れを出した。



⑤ そこに登場するのが**オイディプス**である。

### オイディプス＝エディプス神話③

⑦ スフィンクス:「一つの声を有し、朝は四歩足、昼は二本足、夜は三本足で歩く生き物は何か？」



オイディプス:「欲せずとも聞け、忌まわしい翼の死人のムーサよ。答えは人間だ。赤ん坊の時は四つん這いで歩き、やがて、二本足で歩く、そして、晩年には第三の足として杖を用いるからな」

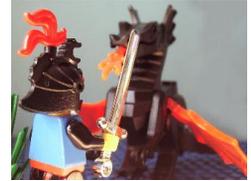
スフィンクスは謎を解かれて死に、オイディプスはテーバイの王となった。

### オイディプス＝エディプス神話④

⑧ オイディプスが王位に就くと、テーバイに疫病が流行った。神託によると、ライオスを殺した者がテーバイにいるのが原因だというのが...

犯人は誰だ...

⑨ オイディプスはライオス殺しの調査を始めた。しかし、そこには呪われた運命の歯車が待ち受けていた。



### オイディプス＝エディプス神話⑤

オイディプス:「予言者は私をライオス殺しの犯人だと言っているのだが...」

イオカステ:「安心して下さい、あの予言者は出鱈目です。あの予言者は『ライオスが自分の子に殺される』と言っていたにも関わらず、ライオスは三叉路で一人の山賊に殺されましたから...」

オイディプス:「妃よ、私はますます不安になったぞ。その山賊は私のことかも知れぬ」

使者:「オイディプス様、お取り込み中、申し訳在りません。ポリュボス王が亡くなられました」

オイディプス:「父が亡くなったか...しかし、これで私が父を殺めるといふ予言だけは外れた様だ。だが、まだ故郷には帰れぬ。『母と交わる』という予言が残っているからな」

### オイディプス＝エディプス神話⑥

使者:「何を恐れておられるのです。貴方はポリュボス王の実子ではございません。何故なら貴方は私が山中でライオス様の家来から貰い受けた御子なのですから」

イオカステ:「なんと言うこと...その子は私の子です」

オイディプス:「つまり、予言は全て成就していたというわけか...兄弟にして子供たちよ、お前たちの父はお前たちの父が殺し、お前たちの父は己を生んだ腹からお前たちを得たのだ」



### オイディプス＝エディプス神話⑦

⑩ 真相は明らかに...

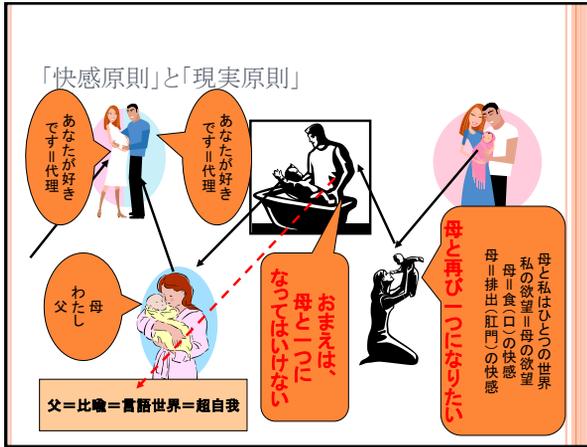
全てを知ったイオカステは自殺した。オイディプスは両目に針を突き刺し、テーバイを去ったのであった。



オイディプス:「何故、捨てられた私を救ったのだ。あの時、死んでおれば、親しき者にこんな恐ろしい苦しみを与えなかったものを...見よ、これがオイディプス、名高き謎を解き、その運勢は皆が羨むところであった男だ。されど、見よ、いかなる悲運が私に襲いかかる。」

### この神話の意味

- ①、父を殺すことにより、父を乗り越えて大人になる
- ②、母を理想の女性として会得する
- ③、その真実をしらなければ、幸せである
- ④、真実を知れば、生きてゆけない



### オオカミ少女

表1 動物に育てられた子供の事例①

| 事例の名称              | 発見の年   | 発見時の年齢 |
|--------------------|--------|--------|
| ヘッセンの狼少年           | 1344年  | 7歳     |
| ヴェッテランプの狼少年        | 1344年  | 12歳    |
| リトアニアの最初の狼少年       | 1666年  | 12歳    |
| アイルランドの最初の狼少年      | 1672年  | 16歳    |
| ペンベルクの子狼少年         | 1680年頃 | 10歳    |
| リトアニアの三番目の狼少年      | 1694年  | 12歳    |
| カルペン(ハンガリー)の狼少女    | 1767年  | 18歳    |
| サルツブルクの社畜少年        |        | 22歳    |
| オーバーダイクの狼少年        |        | 23歳    |
| クロンスタットの狼少年        |        |        |
| 南アフリカのひび少年ルカ       | 1904年  |        |
| インドの豹 (leopard) 少年 | 1920年  | 8歳     |
| ミッドナウールのカマラ        | 1920年  | 8歳     |
| インドの狼少年            | 1920年  |        |
| 最初の豹 (leopard) 少年  |        | 8歳     |
| 二番目の豹 (leopard) 少年 |        |        |
| モリニアの狼少女           | 1946年  |        |
| モリニアの狼少年           | 1960年  |        |
| テララの狼少年            | 1961年  | 14歳    |

1922年に北インドでオオカミの育てられた少女二人が発見された。  
写真はカマラ

生涯言語を介さなかった少女は、生涯「性」を発現しなかった

- まとめ
- ①、人間の意識(=理性)の背後には、無意識がある
  - ②、無意識は、言語になっていない世界
  - ③、人間の性は、本能ではない
  - ④、人間の性は、言語世界の参入によって生まれる
  - ⑤、人間の性は、母親の代替である

### 再び アラレちゃん と ミスチル

歌: Mr.Children 作詞: 板井和彦 作曲: 板井和彦

Ah 長いレールの上を 歩む旅路だ  
風に吹かれ バランスとりながら  
Ah "答え"なんて どこにも見当たらないよ  
それでいいさ 流れるまま進もう

手にしたものを失う怖さに  
縛られるくらいなら  
動意などいらぬ

何が起ころうとも変じゃぬ  
そんな時代さ覚悟はできてる  
よろこびに触れたくて明日へ  
僕を走らせる「e」

Ah 自分の弱さを まだ認められずに  
窓にすがり 傷つけるたび思う  
「愛とはつまり幻想なんだよ」と  
言い切っちゃった方が  
ラクになれるかもなんてね

甘えや嫉妬やズルさを  
描えながら 誰もが生きてる  
それでも人が好きだよ  
そして あなたを愛してる

Oh なんてヒューマン 裸になってさ  
君と向き合っていないの  
栄冠も 成功も 地位も 名誉も  
たいしてさ 意味ないじゃん

Oh なんてヒューマン 裸になってさ  
君と向き合っていないの  
栄冠も 成功も 地位も 名誉も  
たいしてさ 意味ないじゃん

お疲れ様でした……  
授業で理解できたこと と 質問 を書きます

学籍番号の変換対応表  
S1=01 T1=02 T7=03  
H1=04 H3=05 S3=11  
H5=06 H6=07 T6=12  
E1=08 E3=09 J5=10

日本文学 正田 日時は必須 両端をあげない ここまで書かないと出席になりません  
日本文学と文化

★コメント返却希望の学生は、ここに「返却希望」と朱書き